

「ショッピングセンターの地域貢献ガイドライン」
のフォローアップについて

平成21年4月30日



社団法人 日本ショッピングセンター協会

1. はじめに

平成19年1月に公表した「ショッピングセンターの地域貢献ガイドライン」は、会員企業を中心にSC事業にかかわる企業が、当該立地や規模、地域特性等を踏まえ、実行可能な地域貢献に取組に当って参考や指標となるものとして作成された。

今回は、当協会及び会員企業が、本ガイドラインの基きどのような活動を行ってきたかを報告する。

2. 日本ショッピングセンター協会の取組み

(1) 地域貢献策の現況把握と討議・検討

SC協会「公共政策委員会」での継続的取組み

公共政策委員会は、平成20年12月に「SCの地域貢献に関するアンケート」を第一種正会員（SCディベロッパー）391社を対象に実施し、協会ガイドラインの周知度、会員各社の地域貢献への取組み実態、問題点などの把握を行った。（別紙1参照）

このアンケート結果を参考に、より会員各社が社会・地域貢献に取組むことをバックアップするため、平成21年度、公共政策委員会の中に「社会・地域貢献を研究する小委員会」を設置し、中長期的な観点で研究・検討を行うこととした。

また、「調査研究委員会」では、地域貢献の大きなファクターである“地域住民への働く場の提供と雇用の創出”実態を明らかにするために平成21年2～3月にかけて平成20年に新規オープンしたSC（73箇所）がどのくらい新規雇用創出をしているかを明らかにする「ショッピングセンターにおける新規雇用創出の実態に関する調査」を実施した。（別紙2参照）

SC経営士会「まちづくり委員会」での継続的取組み

当協会認定・SC経営士が設立した「SC経営士会」では、「まちづくり委員会」を常設し、SC業界、SC関係者がまちづくりにどう貢献できるかについて研究・提案を行っている。

例えば、平成20年9月には、下記の内容のセミナーを開催し、研鑽を行っている。

- <テーマ> 日本版コンパクトシティの実現を目指して
福島県商業まちづくり条例の構成・内容と条例制定後の課題
講師：福島大学 教授 鈴木 宏氏

(2) 地域貢献を具体化するためのSCに働く人々に対するCSRパンフレットづくり

「公共政策委員会」と「SC経営士会」が共同編集したCSRの基本となる“SCのコンプライアンスマニュアル”を2006年と2007年に発刊し、会員に配布した。(別紙参照)

(3) 教育・研修セミナー等の普及活動

当協会は、あらゆる機会を通じて会員を中心にまちづくり・地域貢献のあり方についての啓蒙・普及活動を行っているが、平成20年度・平成21年度については、下記の内容でセミナーを実施または予定している。

SCアカデミー(主にSC業界中堅を対象にした、次世代経営者層の育成を目的にしたビジネススクール)

平成20年度講座(全31講座)より

- ・「SCとまちづくり～地域貢献と地域環境改善～」
講師：(株)ソフトクリエイション 代表取締役 筒井 光康氏
サンランナーズ 代表 今井 晴彦氏
- ・「商業環境、都市空間、街づくりへの視点」
講師：(株)スペースインキュベータ 代表 彦坂 裕氏
- ・「ライフスタイルセンターとまちづくり型商業」
講師：(株)BACアーバンプロジェクト 取締役会長 柳田 優氏
- ・「サステナブルな街づくり」
講師：(株)エックス都市開発 グループリーダー 山田 芳幸氏

平成21年度講座(全31講座)より

- ・「SC経営と地域貢献」
講師：(株)流通・まちづくりコンソシアム 取締役 及川 亘弘氏
- ・「SC概論 「まちづくり」との連動と地域プラットフォーム」
講師：関西学院大学 教授 石原 武政氏
- ・「CSR経営とSC SC経営に不可欠の「環境対策」「地域貢献」等を総括的に理解する」
講師：NPO法人再開発ビル活性化ネットワーク
理事長代行 藤山 正道氏
- ・「まちづくりとSC 「まちづくり」の核としてのSCの役割」
講師：(株)アフタヌーンソサエティ 代表取締役 清水 義次氏

実務者向けセミナー及び海外視察研修（ＳＣ実務者を対象にした実践セミナー）

平成２０年度より

・「まちづくりとＳＣを考えるセミナー」

内容：第一單元「地域貢献が重視されるこれからのＳＣ運営」

講師：(株)ソフトクリエイション 代表取締役 筒井 光康氏

第二單元「マーケティング理論に基づくこれからのまちづくりとＳＣ」

講師：(有)クオル 代表取締役 栗原 知己氏

第三單元「まちづくりに寄与するライフスタイルセンターとは」

講師：(株)ダイナミックマーケティング社 代表 六車 秀之氏

・「海外視察研修 - アメリカ」

視察地：クリーブランド、コロンバス、ニューヨーク

視察の目的：都市の再生と開発が活発化する米国で潮流となっているパブリック・プライベート・パートナーシップ（PPP）を取り入れたストリート開発などを視察し、我が国の商業施設と一体化したまちづくりや中心市街地活性化の参考とする。

・「海外視察研修 - ヨーロッパ」

視察地：ロンドン、バルセロナ、フランクフルト

視察の目的：中心市街地の活性化に積極的に取り組んでいるヨーロッパで、タウンセンターマネジメント導入している事例を視察し、参考とする。

平成２１年度より

・「海外視察研修 - アメリカ」

視察地：シカゴ、ニューヨーク

視察の目的：米国ＳＣ業界の今、最大の関心事はいかに地域住民に愛顧され、支持されるかということであり、ライフスタイルセンター、タウンセンター、メインストリート開発といった地域密着型ＳＣ開発が近年すすめられている。地域と共生を図り、地域住民が憩える、寛げる場所を提供している事例を研究する。

全国大会（年に一度開催されるＳＣ業界最大のイベントで、セミナー・シンポジウム・接客ロールプレイングコンテスト・ビジネスフェアの３部門で構成されている）

・「地域活性化とこれからの商業開発」

講師：明治大学大学院 教授 上原 征彦氏

・「パネルディスカッション・まちづくりの構造～商業からの視角～」

パネリスト：大阪学院大学 教授 田中 道雄氏

小川事務所 代表 小川 冬木氏

芦屋都市管理(株) ディレクター 若森 正樹氏

コーディネーター：大阪学院大学 専任講師 稲田 賢次氏

冠講座（社会貢献の一環として大学と連携し、学生や社会人を対象としたSCに関する講座を設ける）

平成20年度は、4大学（関西学院大学、文化女子大学、明治大学、龍谷大学）で実施。全12～14単元の内、まちづくり関連のカリキュラムは以下の通りである。

関西学院大学（担当教授：商学部 教授 石原 武政氏）

「地域商業における大型店問題」

講師：南海都市創造(株) 流通営業部長 上山 英樹氏

「商業施設におけるCSR経営と地域貢献」

講師：NPO法人再開発ビル活性化ネットワーク理事長代行 藤山正道氏

明治大学（担当教授：商学部 准教授 原 頼利氏）

「事例研究1 地方における郊外型・中堅SCの経営展開

～まちづくり、地域商業活性化、経営システム、地方経済環境等への対応～」

講師：(協)江釣子ショッピングセンター 理事長 高橋 祥元氏

「SCの社会的責任と地域貢献～CSR、環境、地域との共生、まちづくりへの対応～」

講師：(株)流通・まちづくりコンソシアム 取締役 及川 亘弘氏

龍谷大学（経営学部経営学科 教授 寺島 和夫氏）

「地域商業における大型店問題」

講師：南海都市創造(株) 流通営業部長 上山 英樹氏

「SCにおけるCSR経営と地域貢献」

講師：NPO法人再開発ビル活性化ネットワーク 理事長代行 藤山正道氏

平成21年度は、2大学（千葉商科大学、立命館大学）で実施。

千葉商科大学（担当教授：商経学部 教授 鮎川 二郎氏）

冠講座のテーマ：まちづくりとショッピングセンター(SC)の開発・運営

「まちづくりとSC（流通）の関係」

講師：(株)ソフトクリエイション 代表取締役 筒井 光康氏

「SCのバリューアップ経営～社会的責任と地域貢献～」

講師：NPO法人再開発ビル活性化ネットワーク 理事長代行 藤山正道氏

（4）SC並びに商店街への支援活動

SCの活性化や商店街活性化に対して、「SCノウハウを持ち、テナントのリーシングや運営管理をサポートできる企業や人材」の紹介に努めている。

中小企業基盤整備機構にアドバイザー候補者の推薦

平成20年度は、下記の各アドバイザーにSC経営士を中心にした協会関係者が登録し、各地でまちづくり・中心市街地活性化のアドバイスを行っている。平成21年度の登録者数は以下のとおりである。

中心市街地商業活性化アドバイザー（協議会）…… 18名

中心市街地商業活性化アドバイザー（商店街）…… 25名

商業活性化アドバイザー…… 25名

企業連携支援アドバイザー…… 10名

再開発型SCの経営アドバイス

関西地方で営業している再開発型SC（3SC）の経営近代化、売上アップ策を支援するためNPO法人再開発ビル活性化ネットワークと連携し、経営アドバイスを行っている。

（5）地域貢献SCの表彰

平成20年5月の当協会総会において、従来から実施している「SC大賞」と同時に、顕著な地域貢献をし、他のSCの模範となるSCを表彰する「SC地域貢献賞」を発表した。本賞の選考は2年に1度であり、次回は平成22年5月に実施される。

なお、選考に当たっての評価基準は、「地域貢献ガイドライン」の具体的取組の7項目を基本とした。

<地域貢献賞>

倉橋良雄賞（地域貢献特別賞）

「江釣子ショッピングセンターパル」（岩手県北上市：江釣子ショッピングセンター）

地域貢献賞

「イオン札幌平岡ショッピングセンター」（北海道札幌市：イオン北海道株）

「佐野プレミアム・アウトレット」（栃木県佐野市：チェルシージャパン株）

「アルカキット錦糸町」（東京都墨田区：三井不動産株）

「フューチャーシティファボーレ」（富山県富山市：富山フューチャー開発株）

「エコール・マミ」（奈良県広陵町：株関西都市居住サービス）

「アルパーク」（広島県広島市：株アルパーク・三井不動産株）

「ゆめタウン光の森」（熊本県菊陽町：株イズミ）

2. 地域貢献の具体的取組事例

（1）第1回地域貢献賞受賞SCの事例

倉橋良雄賞（地域貢献特別賞）

「江釣子ショッピングセンターパル」（岩手県北上市：江釣子ショッピングセンター）

この地域でしか生きていけないという決意でSCを運営。「心も」「時間も」「資金も」地域中心のSCを目指す。地元産品を中心に販売する「食彩工

房」は地域住民に好評。

<http://www.ee-pal.com/index.html>

地域貢献賞

「イオン札幌平岡ショッピングセンター」(北海道札幌市：イオン北海道株)
地域の市民団体、商工会と連携して「平岡まちづくり懇談会」を組織、「平岡楽座」の開催など積極的に地域活性化に協力。

<http://www.aeon.jp/sc/sapporohiraoka/>

「佐野プレミアム・アウトレット」(栃木県佐野市：チェルシージャパン株)
都市再生機構の遊休地への出店により、広域圏から集客効果を実現し地域の活性化に貢献すると共に、佐野市と連携して地域内回遊性の促進を図る。

<http://www.premiumoutlets.co.jp/sano/>

「アルカキット錦糸町」(東京都墨田区：三井不動産株)

百貨店の空店舗を再生し地域活性化に貢献。都市型施設として地域防災や防犯への協力、地域祭礼などに協力。<http://www.arcakit.com/>

「フューチャーシティ・ファボーレ」(富山県富山市：富山フューチャー開発株)

地元主導型SCとして、地域の経済団体、住民組織と連携した活動(例えば「A青葉の朝市」買物サポートなど高齢者に優しい施設づくりを推進。

<http://www.favore.jp/>

「エコール・マミ」(奈良県広陵町：株関西都市居住サービス)

ホールなどを活用した多様なコミュニティ活動、地域の歴史遺産見学など住民共生活動など手作りの地域貢献活動を実践。

<http://www.ecoll-mami.com/>

「アルパーク」(広島県広島市：株アルパーク・三井不動産株)

地域住民組織、行政機関と防災協定を締結し、年3回防災訓練を実施。ゴミの従量制課金制度の導入によりゴミ削減に取り組み。

<http://www.alpark.net/>

「ゆめタウン光の森」(熊本県菊陽町：株イズミ)

「熊本県作成の大型店立地ガイドライン」に基づく地域貢献協議会活動への対応の先駆け的役割を果たす。

<http://www.izumi.co.jp/youmetown/hikari/index.html>

(2)「SCの地域貢献に関するアンケート」(平成20年12月実施)結果

地域貢献内容の中で、貴社が最重点に取り組んでいる内容は何ですか(一つだけお答えください)。また、具体的取組事例を教えてください。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1. 商品やサービスの提供を通じた、暮らしの総合サポート | 21社(26%) |
| 2. 地域のまちづくりへの協力と貢献 | 17社(21%) |
| 3. 地域環境との共生、安全性・快適性の維持・管理 | 15社(19%) |
| 4. さまざまな人々が「集う」「交わる」「活動する」場の提供 | 14社(18%) |
| 5. 地域経済および地域商業の健全な発展への寄与 | 13社(16%) |
| 6. 地域住民への働く場の提供と雇用の創出 | 0社(0%) |

7. 撤退時への対応

0社(0%)

8. その他

0社(0%)

< 取り組み事例 >

商品やサービスの提供を通じた、暮らしの総合サポート

- ・ご意見箱の設置、モニター制度の実施
- ・ファッション情報発信及び新生活提案
- ・空スペース（商品、サービスの欠如）をつくらないことが結果的に地域貢献となる
- ・ワンストップショッピング機能の充実
- ・その時々で利用者が求めている業種・業態の導入

さまざまな人々が「集う」「交わる」「活動する」場の提供

- ・地域の文化活動、社会事業の発表の場の提供
- ・成人式、期日前投票、確定申告などの場の提供
- ・地域の行政、団体の発表の場となるイベントを開催
- ・地域の祭の主催
- ・映画サロン（500円）を月1回開催
- ・工作教室などのキッズクラブ（対象・小学生以下）を月2回開催
- ・地元中高生のインターシップ受入
- ・消費者（地元住民）参加型イベントの実施
- ・テナント会による植栽、水やり活動
- ・周辺地域の小学生へのエコ活動普及
- ・障害者、高齢者などの福祉対応、青少年の健全育成への取り組み
- ・地域のお年寄り、障害者の方々に気軽に立ち寄っていただけるよう、車イス研修、ユニバーサル研修、視覚障害者対応・盲導犬研修などを実施

地域環境との共生、安全性・快適性の維持・管理

- ・近隣清掃活動
- ・地区安全なまちづくりフェスティバルへの参画
- ・地元で組織する美観活動として月1回パトロールを実施
- ・館内にAEDを設置し、消防訓練にあわせて訓練を実施
- ・屋上緑化の増設、高反射塗装の実施（クールシティ中枢街区パイロット事業）
- ・館内全体で環境経営委員会を組織し、省エネ、省資源、分別によるリサイクル、食品リサイクルに取り組んでいる。

- ・環境問題（テナントと一体となったリサイクル推進、可燃ごみ排出量の削減、エコ商品の購入、アイドリングストップ活動）への取り組み
- ・生ゴミの肥料化をビジュアルで紹介するイベントの実施
- ・地域冷暖房システムへの導入で、地域環境との共生に配慮
- ・地元自治体、自治会との三者協働事業としてマイショッピングバッグ推進キャンペーンの実施
- ・高齢利用者への振り込め詐欺などの防犯啓蒙活動（警察との協力）
- ・植樹の会への参画
- ・街の安全、快適を意識した施設の維持管理（植栽計画、24時間警備、住宅区域へのバリアフリーブリッジの建設、護身術講習など）
- ・バスターミナル併設型ＳＣであり、お客様の安全性、快適性を重視している。具体的にはビル内外の清掃活動、警備員による巡回、文化活動に対する施設の提供、公共施設、医療センターの誘致

地域経済および地域商業の健全な発展への寄与

- ・ＳＣポイントカードを市内商業者も加入できるように解放し、コミュニティカードへ発展（平成21年2月末予定）
- ・近隣型商業施設の開発
- ・地元店舗の開発
- ・地域商業者の出店を優先
- ・地域の名物を集積したエリアを運営

地域のまちづくりへの協力と貢献

- ・地域の商業施設と連動したイベントの実施し、地域に人を呼び込む仕掛けを主催者として企画、立案、実行
- ・地域文化の振興と支援（Ｊリーグクラブ又はプロ野球独立リーグスポンサー）
- ・地域の文化施設とタイアップし、食事の割引提供などの実施により、入館客数の拡大と地域イメージアップを演出
- ・地域防災協力協定の締結
- ・地元再開発準備組合への事業協力
- ・まちづくり協議会などを通じて地域のまちづくりに積極的に参加
- ・ＳＣテナント会、核店舗、周辺商店街と一体となり駅周辺活性化対策協議会を設立し、地域インフラ整備を行政に要望
- ・市の策定する中心市街地活性化基本計画に当社ＳＣの増築が組み込まれ、地域の活性化に貢献した

- ・隣接する駅改修と連動し、明確なゾーニング、話題性のあるテナントの集積、ターゲット顧客のニーズの充足を通し、新しい街づくりを推進、地域経済の発展に寄与する
- ・商店街活性化に向けた諸活動（市内、県内の事業者呼びかけ毎月1週間程度「市場」を開催、商店街と一体となった冬のイルミネーションイベントを実施
- ・地域NPOへの参加
- ・子供図書館、子育て支援センターの場所提供
- ・交通渋滞緩和のための道路提供、下水などインフラへの投資
- ・駅前不法駐輪に対する駐輪場の整備